

- 問1 地熱発電は、太陽光発電や風力発電といった他の再生可能エネルギーと比較して、エネルギー源としてどのような利点があると考えられますか。その理由を含めた説明として最も適切なものを選びなさい。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 燃料となる石炭や液化天然ガス（LNG）を安価に輸入できるため、発電コストを低く抑えられる点 | 2. ダムを建設して水を蓄えることで、電力需要の変化に応じて瞬時に発電量を調整できる点 | 3. 天候や昼夜を問わず、火山活動による地下の熱源から常に安定して発電を続けることができる点 | 4. 二酸化炭素を全く排出せず、放射性廃棄物の処理も必要ないため、環境への負荷が最も低い点 |
|--|---|--|---|
- 問2 日本の南西諸島に見られる自然環境について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。沖縄県や鹿児島県の奄美大島において、新しい観光資源としても注目されている、亜熱帯地域の海岸付近や河口の湿地に見られる樹木群の名称を含んだものを選びなさい。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. サング礁は、河口付近の泥が堆積した湿地において、樹木とともに森を形成している。 | 2. ブナの原生林は、亜熱帯の海岸付近で見られる代表的な植物であり、湿地帯に自生している。 | 3. マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。 | 4. 針葉樹林は、温暖な気候の南西諸島において、海岸線の砂浜に広く分布している。 |
|--|---|--|--|
- 問3 日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 屋根の傾斜を急にし、厚い茅（か）で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。 | 2. 住居の北側や西側に「防風林（屋敷林）」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。 | 3. 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。 | 4. 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。 |
|--|--|--|---|
- 問4 沖縄県の海岸沿いで見られる、潮の満ち引きがある場所に生育する常緑広葉樹の集まりについて、波の衝撃を和らげる「天然の防波堤」としての役割を果たしている植物群の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|--------|----------|
| 1. マングローブ | 2. サング礁 | 3. パナナ | 4. なつめやし |
|-----------|---------|--------|----------|
- 問5 九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。 | 2. シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。 | 3. 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。 | 4. 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。 |
|--|---|---|--|
- 問6 大分県における1970年から1980年の人口推移は、それまでの横ばいの状態から一転して右肩上がりの増加を示しています。このような人口の伸びが見られた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 大都市圏で深刻な干ばつが発生し、水資源が豊かな九州地方へ農業従事者が移動したため | 2. 第一次石油危機の影響で大都市の全ての工場が閉鎖され、強制的な帰郷が命じられたため。 | 3. バブル経済の影響により大都市圏の地価が高騰し、住居を求めた人々が地方へ一斉に避難したため。 | 4. 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。 |
|---|--|--|---|
- 問7 九州地方において肉用牛の産出額が非常に高い背景には、南九州を中心に広がる地形的要因があります。火山噴出物が積み重なってできたこの台地は、水持ちが悪く稲作に不向きであったため、古くから畜産業や畑作が発展してきました。この台地の名称として適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 牧之原台地 | 2. 武蔵野台地 | 3. シラス台地 | 4. 根釧台地 |
|----------|----------|----------|---------|
- 問8 九州地方の平野とその特徴に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|---|
| 1. 熊本平野は、九州南部に位置し、冬の温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が盛んである。 | 2. 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。 | 3. 宮崎平野は、九州北部に位置し、筑後川の水を利用した米作りが盛んである。 | 4. 筑紫平野は、九州南部に位置し、シラス台地でのサツマイモ栽培が中心である。 |
|--|-------------------------------------|--|---|
- 問9 九州地方の宮崎平野などで盛んな、冬でも温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用することで、作物の成長を早めて出荷時期をずらす栽培方法を何といいますか。（2022年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 二毛作 | 2. 抑制栽培 | 3. 促成栽培 | 4. 近郊農業 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問10 熊本県の農業産出額の内訳を分析したとき、野菜と畜産の産出額がいずれも1,100億円を超えている状況から読み取れる、この地域の農業の強みとしてふさわしい説明を選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|--|
| 1. 米の産出額が他の品目を圧倒しており、単作地帯としての特色が強い。 | 2. 野菜と畜産の両方で高い産出額を維持しており、多角的な農業経営が実現されている。 | 3. 野菜の産出額は高いものの、畜産や果実の生産は減少傾向にあり、特定の品目への依存が進んでいる。 | 4. 農産物の輸出に特化しているため、国内向けの野菜や畜産の生産額は極めて低い。 |
|-------------------------------------|--|---|--|
- 問11 九州地方の各県を比較した統計において、小麦の収穫量が約8,800トン、携帯電話の加入数が約1,114,000件である一方、温泉の源泉数が4,342箇所と他県に比べて突出して多い特徴を持つ県はどこですか。（2019年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 沖縄県 | 2. 大分県 | 3. 佐賀県 | 4. 愛知県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 九州地方南部において、稲作よりも肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な要因として最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. 冬の寒さが厳しく、冷害によって米の収穫量が安定しなかったため。 | 2. 年間を通して降水量が極端に少なく、大規模なため池を造ることが困難だったため。 | 3. 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。 | 4. 平地がほとんど存在せず、斜面を利用した果樹栽培しか行えなかったため |
|------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
- 問13 福岡県の北九州市に関して、かつて官営八幡製鉄所が建設され重化学工業が発展したが、現在ではその産業構造に変化が見られる。この地域の現在の特徴的な取り組みとして最も適切なものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 伝統的な繊維産業を中心とした地場産業の振興 | 2. 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成 | 3. 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培 | 4. 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚介類の養殖 |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 天候や昼夜を問わず、火山活動による地下の熱源から常に安定して発電を続けることができる点	太陽光発電は晴天時や日中に限られ、風力発電は風の強さに左右されますが、地熱発電は地下の熱を利用するため、自然条件の変化を受けにくいという特徴があります。このため、年間を通じて安定した電力を供給できる「ベースロード電源」としての役割が期待されています。
問2	答え 3 マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。	マングローブは、熱帯や亜熱帯地域の河口付近など、海水と淡水が混ざり合う「汽水域」の湿地に発達する植物群の総称です。日本では沖縄県や鹿児島県の奄美大島などに自生しており、塩分に耐える特別な仕組みを持っています。多様な生物の生息地となっていることから、その豊かな自然環境はエコツーリズムなどの観光資源としても活用されています。
問3	答え 4 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。	南西諸島の伝統的な民家は、サンゴ礁を利用した石垣で囲まれていることが多く、これは台風などの強風から家を守る役割を果たしています。また、屋根には風に強いとされる赤瓦が使われ、さらに瓦が吹き飛ばされないよう漆喰で継ぎ目を固めているのが外観上の大きな特徴です。急勾配の屋根は白川郷などの合掌造り、防風林は関東平野や平屋などで見られる工夫です。
問4	答え 1 マングローブ	マングローブは、熱帯や亜熱帯地域の、海水と淡水が混ざり合う汽水域の海岸沿いに発達する植物群落のことです。常に葉をつけている常緑広葉樹であり、その複雑に絡み合った根の構造が、波のエネルギーを吸収・緩和して背後の陸地を守る天然の防波堤として機能しています。
問5	答え 2 シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。	鹿児島県を含む九州南部には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、かつては大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）などの畜産が発展しました。
問6	答え 4 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。	1970年代に入り高度経済成長が終わりの時期を迎えると、それまで続いていた地方から三大都市圏への大規模な人口流出（移住）が落ち着きました。これに加え、地方における雇用創出の取り組みが実を結んだことで、大分県などの地方都市において人口の増加が見られるようになりました。バブル経済による地価高騰は1980年代後半の出来事であり、時代背景が異なります。
問7	答え 3 シラス台地	鹿児島県から宮崎県にかけて広がるシラス台地は、火山の噴出物（火山灰など）で構成されています。水はけが良すぎて水田に適さなかったため、肉用牛や豚、鶏などの畜産や、サツマイモなどの畑作が盛んになりました。ちなみに根釧台地は北海道の酪農地帯、牧之原台地は静岡県一の茶の産地です。
問8	答え 2 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。	筑紫平野は九州北部に位置し、稲作が盛んな地域です。宮崎平野は九州南東部に位置し、野菜の促成栽培で知られています。熊本平野は九州中部に位置し、い草やトマトなどの栽培が行われています。シラス台地は九州南部に広がる火山灰性の台地です。
問9	答え 3 促成栽培	宮崎県などの温暖な地域では、冬の暖かさを活かしたり、施設内で温度調節を行ったりすることで、本来の収穫時期よりも早く作物を育てる手法がとられています。これにより、他の地域からの出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することが可能になります。対義的な用語である「抑制栽培」は、高冷地などの冷涼な気候を利用して出荷時期を遅らせる方法を指します。
問10	答え 2 野菜と畜産の両方で高い産出額を維持しており、多角的な農業経営が実現されている。	熊本県は、阿蘇の外輪山周辺での畜産や、平野部での野菜栽培など、多様な地形を活かした農業が行われています。統計においても、野菜（1,247億円）と畜産（1,147億円）という、本来は異なる形態の農業が共に出色な数値を記録しており、バランスの取れた産出構造であることが、地域の農業の安定性と強みにつながっています。
問11	答え 2 大分県	九州地方には火山が多く、その恩恵として温泉資源が豊富に存在します。特に大分県は、別府や由布院といった全国的に有名な温泉地を擁しており、源泉数および湧出量において全国1位の規模を誇っています。この特徴から、観光業が地域の重要な産業となっています。
問12	答え 3 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。	南九州には、火山の噴出物による「シラス台地」が広がっています。シラスは水はけが非常に良く、水分を蓄える力（保水力）が低いため、水を張る必要がある稲作には適していませんでした。そのため、広大な土地と温暖な気候を利用して、牛や豚を育てる畜産業や、畑作が発展しました。
問13	答え 2 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成	北九州市はかつて激甚な公害に見舞われたが、市民・企業・行政の協力によりこれを克服した歴史を持つ。現在ではその技術やノウハウを生かし、廃棄物リサイクル施設などを集積させたエコタウン事業を展開し、環境産業都市としての発展を目指している。